

第10回沖縄県青壮年・女性漁業者交換大会

平成17年1月13日、那覇市内の沖縄県水産会館で第10回沖縄県青壮年・女性漁業者交換大会が開催された。本大会では、3人の代表者が日頃の活動成果を発表した。実績発表では審査の結果「シャコガイ養殖の現状と課題」－八重山の海のお花畑がもたらす未来－と題して発表した八重山漁協貝類養殖生産部会の池田元氏がみごと最優秀賞を獲得した。

池田元氏は八重山において、ヤイトハタ養殖、モズク、貝類養殖を中心に追い込網やかご網等の漁船漁業も行っており、時期に合わせて複合

経営を実施している漁業者である。

今回はシャコガイ養殖について養殖技術の向上、流通対策等について発表された。

池田元氏は平成17年3月7～8日に東京で開催された全国大会に沖縄代表として派遣され第5分科会で発表しJF全国女性連・JF全国漁青連会長賞を受賞した。

今年も沖縄県立水産高校生3名による体験発表が行われ、会場から盛んな声援が送られた。

第10回発表課題、発表者は次の通りです。

発表者	発表課題	所属グループ
与那嶺 康 池田 元 名嘉敏 枝	耐波浪式魚類養殖生け簀の活用について シャコガイ養殖の現状と課題 私たちが考えるこれからの漁協女性部のあり方	本部生産部会 八重山漁協貝類養殖生産部会 石川市漁業協同組合女性部
儀間 桂 高良 将和 山内 貴晶	島の海人とワリジケ	沖縄県立水産高等学校 海洋技術科2年生



最優秀賞受賞の池田元氏



名嘉敏枝氏



与那嶺 康氏



沖縄水産高校海洋技術科2年生